避難所におけるペット同行ルール

日日はじめに日日

日本における過去の災害では、ペットがいることによって、つらい避難生活の中での心の 安らぎや支えとなったという声がある一方、他の避難者との間にペットの飼育を原因とする トラブルの発生が報告されています。阪南市では、避難所におけるそのような問題の発生 を防ぐために、ルールを作成しました。

はは原則はは

(1)ペットの飼育は飼い主の責任です

避難所では飼い主の責任で、ペットの世話や飼育場所の管理を行うことになります。 飼い主には普段の生活以上の様々な配慮が求められます。

(2)ペット飼育場所は、避難生活スペースと分けます

避難所では、動物にアレルギーを持つ方や、動物を苦手とする方、小さなお子様など 配慮が必要な状況が想定されます。避難生活スペースには、ペットを連れていくことは、 できません。発災から数日間は車中泊対応のご案内となります。

※ただし、法律(「身体障害者補助犬法」)により、盲導犬、介助犬、 聴導犬は公共施設での同伴が認められています。

(3) 飼育ルールを守りましょう

各避難所では飼育場所の指定、ケージの使用、給餌、排泄などのペット飼育のルールが、各避難所の状況に応じて定められます。他の避難者にも配慮することを心がけ、飼育ルールを守りましょう。

※避難所へペット同行避難することだけが、ペットとの避難方法ではありません。 ペットホテルの利用や、安全な親戚・知人宅に預けることも検討してみましょう。

お問合せ

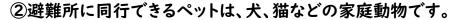
阪南市役所 総務部 危機管理課 TEL072(489)4503 kiki-kanri@city.hannan.lg.jp



00N-N00

①発災直後は、原則、**車中泊**での対応となります。日頃からペットとの避難を想定し、災害時に必要なペットフード、資材、防災用品を用意しておきましょう。また、安全面、衛生面からケージを必ずご持参下さい。指定場所(避難所敷地内の屋外)にペットのスペースが開設されましたら、そちらで飼っていただ

くことになります。 (阪南市にはペット専用の避難所はありません)



(人に危害を与える恐れのある動物、特別な管理が必要な動物は受け入れできません)

③餌やり、給水、食べ残しの片付け、散歩、ブラッシング、ケージ内外及び周辺の清掃などは**飼い主が責任**を持ち管理してください。

(飼育・管理に必要な資機材 (ケージ等の器具など) は、飼い主が用意してください)







- ④餌やりは、決められた時間を守り、残った餌は、その都度必ず後始末してください。 (清潔な飼育環境を保持することが、避難所では求められます)
- ⑤排泄は指定された場所でさせ、清潔な環境保持のため、後始末は適切に行ってください。
- ⑥散歩やブラッシングなどは、避難所外もしくは避難所内の指定された場所で行ってください。移動するときや、散歩するときは、リードをつなぎ、短く持つなど、トラブル防止に努めましょう。
- ⑦普段からケージに慣らしておくことが必要です。不必要に吠えないようにすることや、 決められた場所での排泄などのしつけを行うとともに、狂犬病予防注射と各種ワク チンの接種、寄生虫の予防と駆除など健康管理、衛生管理に努めましょう。

